

主催者あいさつ

発達障がいとは、コミュニケーション能力や社会性等に関連する脳の機能の違いによって生じる障がいの総称であり、自閉症・アスペルガー症候群・その他広汎性発達障がい、ADHD(注意欠陥多動性障がい)、LD(学習障がい)等、その状態像はさまざまです。

私たちは、それらの特性を理解したうえで、福祉サービスを提供し、障がいのある人を取り巻くさまざまな人たちとも、一体的に取り組むことが非常に重要です。

当事業団の理念である「ともに生きる心を育み、ともに歩む社会の実現」の精神は、ともに生きていこう、一緒に歩いていこうという思いを持って、障がいのある人が楽しく安心して生きていくことが、当たり前前の社会を実現しようという思いが込められています。そしてそのような社会は、障がいのある人だけでなく、すべての人にとってもよりよい社会であるはずで

すべての人の生活をより豊かなものとするため、本セミナーがひとりでも多くの人にとって、障がいのある人たちへの支援を振り返るとともに、支援のあり方や自分にできることを再確認する場となることを望みます。

申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記、申込先まで郵送またはFAXにてお申込みください。

右記 URL から、「参加申込書」のダウンロードが可能です。 → <http://www.sfj-osaka.net/> (URL)

申込先

〒584-0054 大阪府富田林市大字甘南備 216 番地

社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団 人事課 宛

TEL 0721-34-3563 FAX 0721-34-2371 (担当 川上)

MAIL sf-seminar@sfj-osaka.net



申込期間

平成 27 年 10 月 1 日 ~

平成 27 年 11 月 30 日

*お問い合わせ受付時間

「平日 9:00~17:45」

*会場アクセス



♪♪事業団「自主製品」販売♪♪



当日、小ホール入り口周辺で、利用者が心をこめて製作した自主製品の販売、紹介を行います♪

メインテーマ：「発達障がいの理解と

これからの発達障がい支援」

目的

平成 17 年の「発達障害者支援法」の施行から 10 年が経過しました。自閉症をはじめとする発達障がいの研究や支援方法等は進展するとともに、多くの施策も整備されてきました。

しかし、発達障がいのある人たちが地域生活を送るうえで、いまだにさまざまな困難に直面されています。

おりしも、平成 28 年には障害者差別解消法が施行され、「合理的配慮」が求められています。発達障がいのある人への「合理的配慮」とは？ 私たちはどのように考え、どう取り組めばよいのか？

このセミナーを通じ、発達障がいについての理解を深め、共生社会に向けた支援・配慮のあり方について、ともに考える機会とすることを目的にセミナーを開催いたします。

内容

厚生労働省より「発達障害対策専門官 日誌 正文 氏」、大阪府より「障がい福祉室参事 奥村 健志 氏」の両名をお招きし、それぞれ「発達障がいの理解とこれからの発達障がい支援」、「大阪府の発達障がい支援の取り組み」をテーマに、ご講演いただきます。また、当事業団の発達障がい支援に関する実践報告を行います。

発達障害対策専門官 日誌 正文 氏

【プロフィール】

平成 元年～18年 長野県精神保健センター

平成 19年～22年 厚生労働省 社会・援護局 精神障害保健課⇒障害福祉課

平成 23年～24年 長野県 健康福祉部 健康長寿課

平成 25年～ 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課

障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官



日時：平成 27 年 12 月 12 日(土) 13 時 00 分～17 時 00 分 (受付開始:12 時 15 分～)

会場：大阪市立阿倍野区民センター地下 1 階(小ホール) TEL 06-4398-9877

住所 大阪市阿倍野区阿倍野筋 4-19-118

(地下鉄 阿倍野駅 徒歩 3 分、地下鉄 天王寺駅・JR 天王寺駅・近鉄 阿部野橋駅 徒歩 10 分)

*駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

参加費：無料

定員：300名(先着順)

後援：大阪府 大阪市 堺市 泉大津市 守口市 茨木市 富田林市 河内長野市 松原市 箕面市 大阪狭山市

(福)大阪府社会福祉協議会 (一社)大阪知的障害者福祉協会 (福)大阪手をつなぐ育成会

プログラム

12:15 ~
受付開始 (開場)
 13:00 ~
開会 主催者挨拶
大阪府障害者福祉事業団
理事長 大西 弘之
「事業団 (事業等) 紹介」

— 第1部 —

13:15 ~ 14:35
基調講演: 「発達障がいの理解とこれからの発達障がい支援について」
 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
 障害児・発達障害者支援室
 発達障害対策専門官 日誌 正文 氏

14:35 ~ 15:05
大阪府の取り組み: 「大阪府の発達障がい支援の取り組みについて」
 大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課
 参事 奥村 健志 氏

15:05 ~ 15:15
休憩

— 第2部 —

15:15 ~ 16:55
実践報告: 「事業団の取り組み ~事業所・専門分野別委員会の取り組み~」
 コーディネーター 大阪府障害者福祉事業団 理事 白土 隆司

報告 1 「発達障がい者就労支援ツールの開発について」
 就労支援委員会 松本 幸紀 ・ 橋本 将護

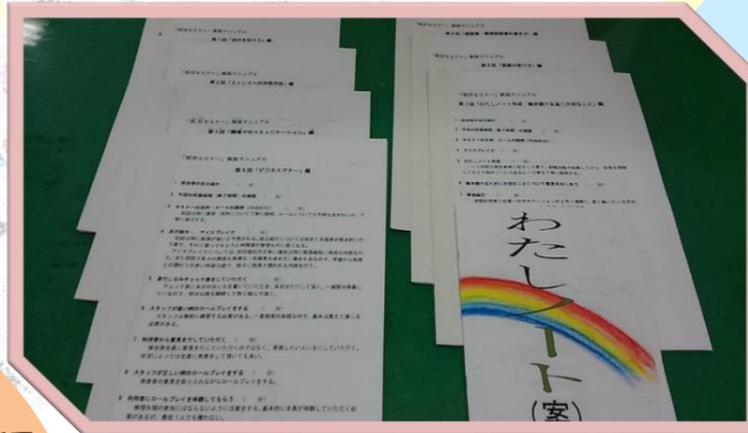
報告 2 「ご本人へのケアマネジメントから自己実現に向けたアプローチ」
 南河内南障害者就業・生活支援センター 南光 智美

報告 3 「就学前の子ども (双子) とお母さんへのアプローチ」
 こども発達支援センターSun 上溝 由希奈

報告 4 「発達支援に特化した生活介護の取り組みについて」
 地域生活総合支援センターあい 前田 友美
 発達障がい者支援委員会 紀平 亜希

16:55 ~ 17:00
閉会 主催者挨拶
大阪府障害者福祉事業団
常務理事 久保田 全孝

実践報告内容



報告1 発達障害者就労支援ツールの開発について

福祉・雇用に関する施策はめまぐるしく変化し、就労支援事業でも、さまざまな障がい特性のある人たちに応じたサービスを提供することが、ますます重要となりました。

当事業団では、就労支援委員会を設置し、さまざまな障がい特性に応じた就労支援ツールの作成に力を入れています。

このたび、発達障がいのある人に分かりやすい「セミナー形式の就労支援ツール」を作成しました。まだまだ改良や工夫は必要ではありますが、今回作成した支援ツールの概要について、実践事例も含めて、紹介・報告させていただきます。

報告2 ご本人へのケアマネジメントから自己実現にむけたアプローチ

障がいのある人たちの就労ニーズは年々高まっており、南河内南障害者就業・生活支援センターでは、さまざまな障がいのある人の「働きたい」「働き続けたい」を応援しています。

ケアマネジメントによる、ご本人の強みに着目した企業へのアプローチと、ご本人の自己実現にむけた取り組みを報告させていただきます。



スケジュール



ご家庭で使用していた
 コミュニケーションツール

報告3 就学前の子ども (双子) とお母さんへのアプローチ

こども発達支援センターSun では、小学2年生までのお子さんを対象に個別療育を行っています。今回は、3歳の時に療育を受けられた双子のご兄弟への取り組みを紹介させていただきます。

お子さんへのアプローチはもとより、ご家庭での取り組み等、当センターとご家族の方がどのように協同してきたのか、事例を通じて報告させていただきます。



報告4 発達支援に特化した生活介護の取り組みについて

地域生活総合支援センターあいの生活介護事業では、発達障がいのある人への環境調整等が必要な状況がありました。そこで、当事業団の「コンサルテーションシステム」を活用し、利用者の障がい特性に配慮したワークシステムをはじめとする環境調整等に取り組みました。その取り組みについて、報告させていただきます。